



# 二輪草だより

平成28年12月号  
発行:二輪草センター

## センターの活動予定

- ◆1月4日(水)～6日(金) 年末年始のお休み期間は12月29日～1月3日です
- ◆1月下旬 冬休みキッズスクール開催
- ◆1月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより1月号発行

## 平成28年度「看護学生と看護師の集い」終了報告

看護職キャリア支援職場適応支援担当 師長 浅利 尚子

11月11日(金)12時00分～12時45分に、「看護学生と看護師の集い」を開催しました。毎年「語るタベ」として、夕方の時間に開催していましたが、より多くの看護学生や短時間勤務者も参加できるよう昼の時間帯に開催し、今年度から「集い」としてリニューアルしました。今年度のテーマは『看護職を続ける力の源!』です。後輩への指導や看護実践を通して、キャリアを継続しながら働き続けている2人の講師の体験談から、看護職を続けてきた、その源にあるパワーを参加者みんなに広めていきたいと考え、このテーマにしました。参加者は、学生9名、看護職13名、教員3名の計25名でした。

今年度は2人の中堅看護師にお話ししていただきました。1題目は、看護学生に身近に感じて頂けるよう、実習指導者をしている4階西ナーステーションの中川原舞さんに講師をお願いしました。中川原さんからは、新人看護職や看護学生など後輩指導を通して感じたこと、看護観についてお話しいただきました。少しでも学生の力を引き出し、学生が主体となり学びを深められたと思えるように支援したい、臨床の場で感じるギャップを少しでも埋めたいと考えていました。また教育担当者として、新人看護師の気付きの場面、成長していく姿をみられることも喜びにも繋がっており、今まで先輩から教えて貰った事、患者さんから受け取ってきたものを、自分の中で大切に看護に反映し、これが私の看護観と言えるようにして後輩に伝えていきたい、そしてそれがまた後輩から次の世代に繋がっていくと嬉しいと話されているのが印象的でした。

次に、中央部門で行われている専門的な看護実践を知ってもらいたいと考え、光学医療診療部・放射線部ナーステーションの鈴木智美さんに講師をお願いしました。光学医療診療部では、光学医療診療部(内視鏡室・特殊検査室)、CT/MR検査室、放射線治療室、PET・核医学検査室、血管造影部門で行われている看護について、お話していただきました。鈴木さんは、インターベンションエキスパートナースの資格を取得し、主に血管造影室で活躍しており、医師・放射線技師・臨床工学技士とチームで働き、安全で質の高い看護を目指しているとのことでした。最後に「私が働き続けるための5か条」として、①心身ともに健康であること、②笑顔で過ごせる職場環境を作ること、③尊敬できる先輩を持つこと、④息抜きと思えることを見つけること、⑤大切な人と過ごせる時間を作ることとお話があり、参加者の共感を得ていました。

2人の講師は、結婚後もそれぞれ自分らしくキャリアを重ねており、看護職を続けてきたその源には、支えてくれたたくさんの方がいることが大切であると感じました。今後も、参加者にとっても講師にとっても、立ち止まって自分自身を振り返り、何か得られるような機会になるよう、内容を充実させていきたいと思っております。



【お問い合わせ先】旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL : 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX : 0166-69-3249  
開設時間 : 8時30分～17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
ホームページ: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

## 第1回 キャリアマネジメントセミナー 「活用できる支援制度について知ろう」

日時:平成29年1月30日(月)17:30～18:15  
場所:臨床講義棟 臨床第2講義室  
対象:全職員・各部署の管理職  
講師:労務管理係 富田 直樹係長



※託児あります  
ご希望の方は、  
二輪草センター  
まで、お電話くだ  
さい(1/26締切)

### 1.支援制度の概要

- ①育児に関する制度について
- ②介護に関する制度について
- ③給料に関連すること
- ④その他の制度について

### 2.みどりの保育園利用についての紹介

## 「医学生・研修医・女性医師の集い」終了報告

二輪草センター助教 菅野 恭子

平成28年11月9日に医学生・研修生・女性医師の集いが開催されました。今年度は「研修医生活あれこれ・・・」をテーマに研修医と研修後まもない5人の先生方にお話しして頂きました。

まずはじめは、旭川医科大学初期研修医の日比野幸子先生から自身の働き方をお話していただきました。アメリカの大学をご卒業後、医療系の出版社で編集者をされていましたが、医師を志し再受験されたとのこと。学生中に癌の研究に取り組むなかで腫瘍内科医になりたいと考えたそうです。MD Anderson center上野先生と出会い、ビジョンとミッションに基づいたキャリアプランを考えるようになりその具体的な内容の紹介もありました。次にお話し頂きました旭川医療センター初期研修医の荻尾優里菜先生は自身の研修生活が辛さから楽しさに代わっていく様子をわかりやすくお話しされました。11月に放射線科に入局されたばかりとの事ですがどのように選択したかについてもお話がありました。3番目は市立旭川病院初期研修医の窪田葵先生で、ご自身を症例にみだててユニークに自己紹介をして下さりました。市立病院での研修についても具体的なお話がありました。4番目は旭川赤十字病院血液腫瘍内科の下山紗央莉先生で、地域医療研修で沖縄の離島で仕事をされた貴重な経験を豊富な写真で具体的にお話ししていただきました。島を365日一人で守る医師の責任と孤独、仕事の向き合い方を学べたそうです。5番目は旭川厚生病院循環器内科の豊嶋更紗先生です。循環器内科の先生方との出会いで入局を決めたそうですが、研修中に学会発表をしたり、フランスの学会に参加した経験等早めに科を決めたことのメリットについてお話がありました。また、現在のアクティブに仕事をしている様子も語って頂きました。今回は医師24名、学生が54名と非常に多くの学生さんに参加して頂きました。早い時期にロールモデルの体験談を聞くことは今後の自分自身の働き方や生き方の参考になると思いますので今後もより多くの学生に参加して頂ければと思います。



最後になりましたが、主催頂きました旭川市医師会および北海道医師会にこの場を借りてお礼を申し上げます。またお忙しい中ご講演頂きました先生方にも深謝致します。

## 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【11月20日～12月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	13回	稼働回数	13回
病児・病後児保育室	依頼回数	11回	利用回数	9回
カウンセリング相談			利用回数	7回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます